

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	メディセオ阪神ALC(仮称)新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市津門大塚町1番18	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	550 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,267 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年9月1日
敷地面積	26,446 m ²	作成者	株式会社Okamoto総合建築事務所
建築面積	14,516 m ²	確認日	2021年9月1日
延床面積	42,776 m ²	確認者	株式会社Okamoto総合建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	医療用医薬品の物流センターとして十分な機能を満たす設計であり、外壁面や敷地内緑地等に周辺景観や環境への配慮措置を施します。また屋上へ太陽光発電設備を設置し再生可能エネルギーを積極的に取り入れた施設運用を計画している。	その他 0
Q1 室内環境	作業スペース300㎡、事務スペース700㎡を基本設定としている。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑化計画により必要緑化面積以上を確保した。
LR1 エネルギー	特に配慮を行っていない。	LR3 敷地外環境 自動車、自転車の駐車場の十分なスペースを確保した。
Q2 サービス性能	医療用医薬品の物流センターとして配送サービスを充実している。	
LR2 資源・マテリアル	特に配慮を行っていない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される